



Daiwa House®

大和ハウスグループ

『脱炭素経営入門』
出版記念ウェビナー

大和ハウスの **カーボンニュートラル** への挑戦

2022年 2月 7日

大和ハウス工業株式会社
環境部長

小山 勝弘



エコ・ファースト企業
環境大臣認定

We Build ECO

Daiwa House Group®

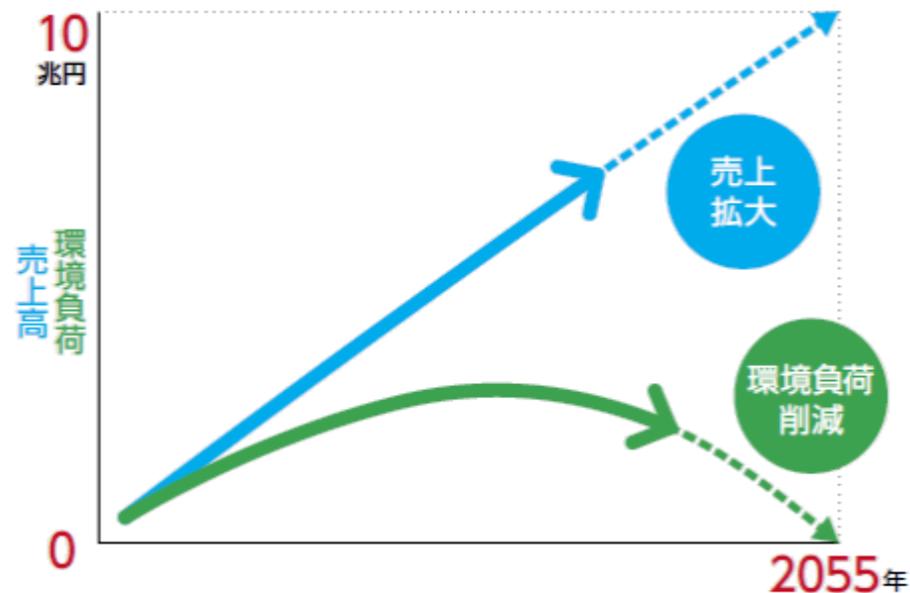
Daiwa House

目指すのは、

「環境と企業収益の両立」

合い言葉は、

“環境も、成長もあきらめない”



» 脱炭素経営の
ドライバーは？

危機感の
醸成

+

ビジネスへ
の統合

2つの危機感

気候変動の深刻化

十 脱炭素革命の加速



なぜ、“脱炭素”に取り組むのか？

- 地球環境を守る
- 住まいや暮らしの安全・安心を守る
- 私たちのビジネスを守る・拡げる

危機①

気象災害の頻発化、激甚化

住まいの安全・安心が脅かされ続けているのは、マイホームの夢も持てない

危機②

世界は「脱炭素」に大きく舵

世界でビジネスを拡大するには、世界標準の取り組みが必須

世界標準の高い 目標を掲げ、 「脱炭素」を推進

- 住宅・建設業界で世界初、3つの国際イニシアティブに同時参画（2018年）
- 「CO₂削減」、「省エネ」、「再エネ」について、野心的な目標を設定して推進



パリ協定に沿った削減目標



温室効果ガス排出量（総量）

- 2030年：▲50%（15年比）
- 2050年：ネットゼロへ挑戦



エネルギー効率2倍



エネルギー効率（売上高÷エネ消費量）

- 2030年：2.0倍（15年比）



再生エネルギー100%



再エネ利用率（再エネ利用量÷電力使用量）

- 2030年：70%
- 2040年：100%



■ 自社新築施設のZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）事例

【省エネ | 新築】

新築施設にて ZEBを推進し、 先端技術を実証

- 新築する自社施設は、原則すべてZEBにする方針を制定
- 自分たちの有する先端技術の実証の場と位置付け、事業競争力の蓄積に活用

2020年度のエネルギー効率（実績）

2015年比 **1.46** 倍

オフィス



大和ハウス佐賀ビル（2018年、Nearly ZEB）

物販店舗



ロイヤルホームセンター津島店（2016年、『ZEB』）

ショッピングセンター



フレスポひばりが丘（2019年、ZEB Ready）

物流倉庫



DPL新富士Ⅱ（2020年、ZEB Ready）

【再エネ | つくる】

「自らつくる」で 目指す、 再エネ100%

- 再エネを「自らつくる」ことで、
量の拡大に貢献しながら、
RE100を目指す

目標：

【めくく】

2030年までに、電力使用
量を上回る、再エネ発電を
開発・稼働させる

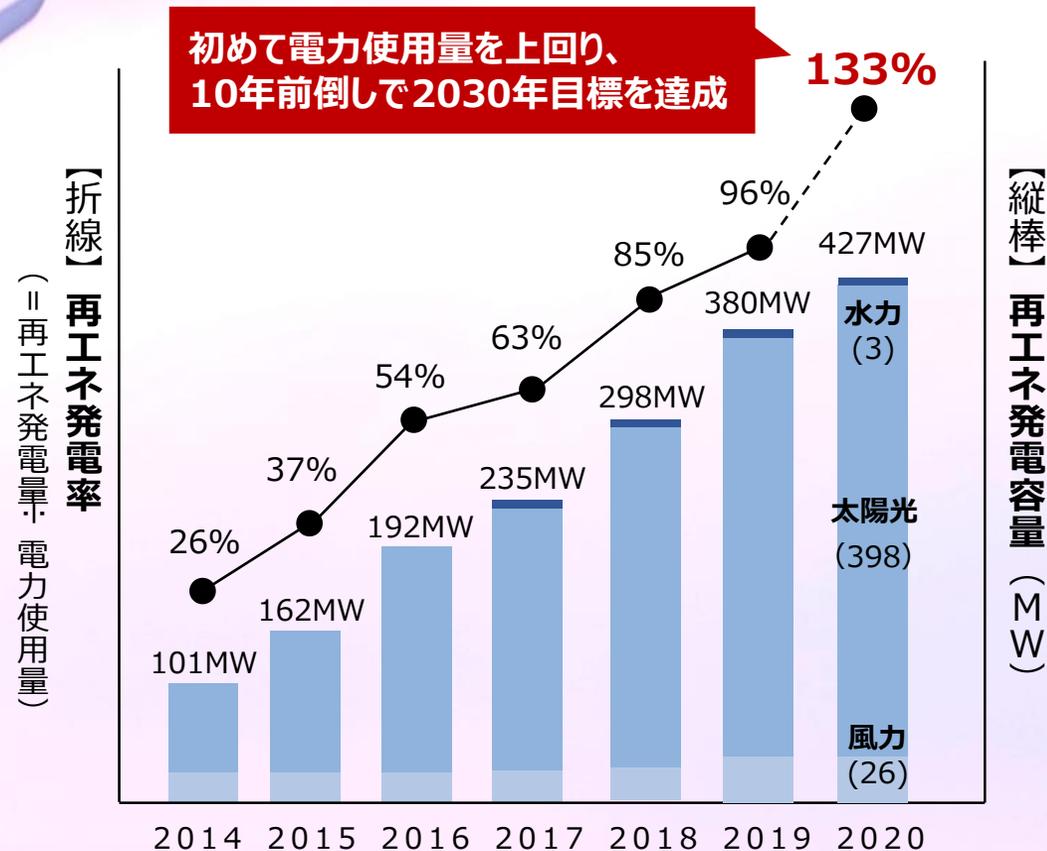


【つかい】

2040年までに、自家消費
に切替え、全ての使用電力
を再エネで賄う

■ 再エネ発電率の推移

初めて電力使用量を上回り、
10年前倒して2030年目標を達成



【折線】再エネ発電率

(= 再エネ発電量 ÷ 電力使用量)

【縦棒】再エネ発電容量 (MW)

【再エネ | 自家消費】

自家消費型の再エネ導入を 着実に推進

- 2000年、大型風力発電 (600kW) の1号機を「ロイヤルホテル」に設置
- 同年、三重工場に太陽光発電 (60kW) を設置。以降、各所で導入を推進

現在、全国50ヶ所で計1MWの再エネ電気を自家消費中
(使用量の約0.2%)

■ 自家消費型の再エネ導入事例

ホテル



沖縄残波岬ロイヤルホテル (風力、600kW) ※現在は撤去

工場



大和ハウス中部工場食堂棟 (太陽光、30kW)

スポーツクラブ



スポーツクラブNAS西日暮里店 (太陽光、10kW)

オフィス



大和ハウス岐阜支社 (太陽光、15.4kW)

【再エネ | つくる】

FIT制度を 活用し、 規模の拡大を加速

- 将来の自家消費に向け、
自社施設の屋根、未利用
地でFITを活用した発電事
業を展開

現在、全国377ヶ所で、合計
427MWの再エネ発電を実施
(土地・設備賃借含む)

※計画中を含めると450MW超

■ 建設から運営管理までをワンストップで手掛ける

－ 再エネ発電事業『DREAM Solar/Wind』－

自社工場
(屋根上)



DREAM Solar 岡山工場

自社倉庫
(屋根上)



DREAM Solar 北九州ひびき灘

工場跡地
(地上)



DREAM Solar 恵庭

風力
(地上)



佐田岬風力発電所

- 太陽光 : 397 MW (359ヶ所)
- 水力 : 3 MW (3ヶ所)
- 風力 : 27 MW (15ヶ所)

※2021年3月末現在

※ D : Daiwa House Group (大和ハウスグループ)、R : Renewable (再生可能)、E : Energy (エネルギー)
A : Asset (資産)、M : Management (管理)

【再エネ | つかう】

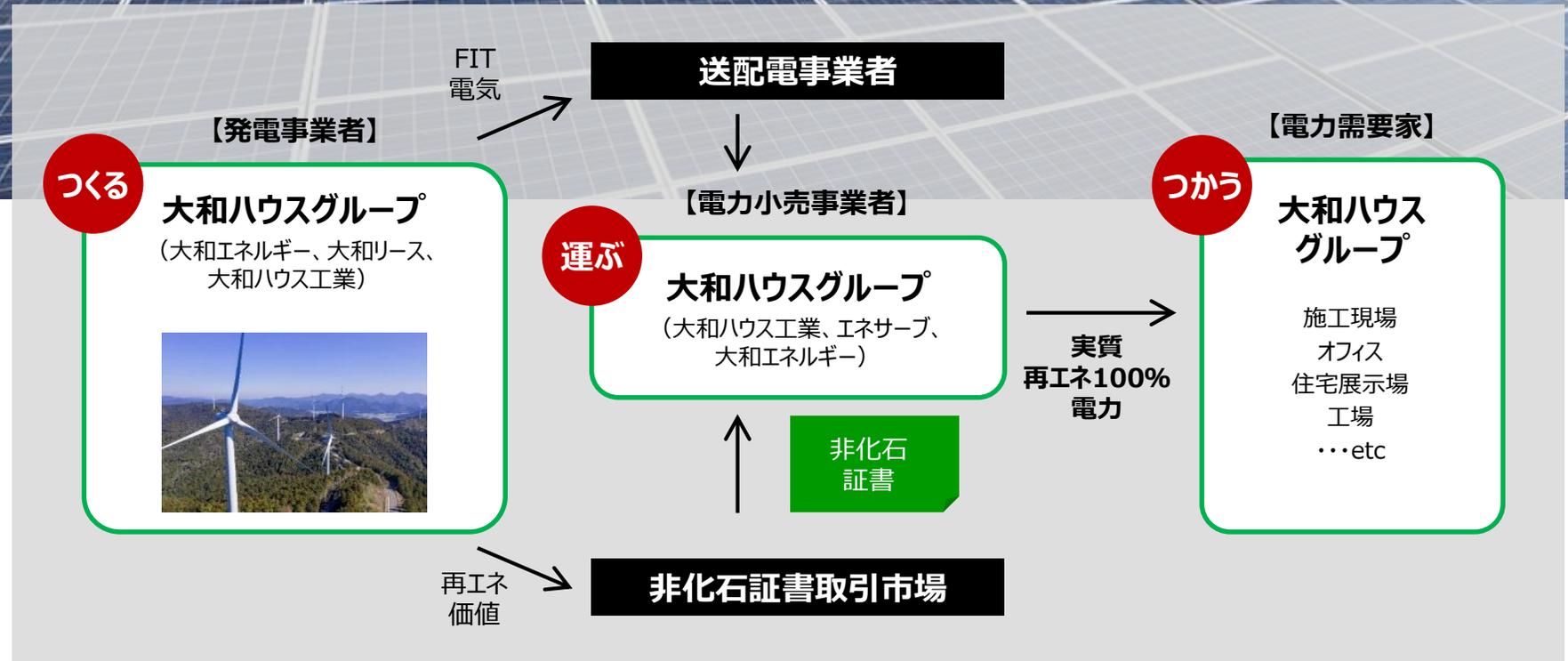
「つくる」から 「つかう」へ

- 自社グループの再エネ発電所由来の「実質再エネ100%電力」を利用
- 発電から供給、利用までを完結し、「再エネによる自給自足」を実現

2020年度の再エネ利用率（実績）

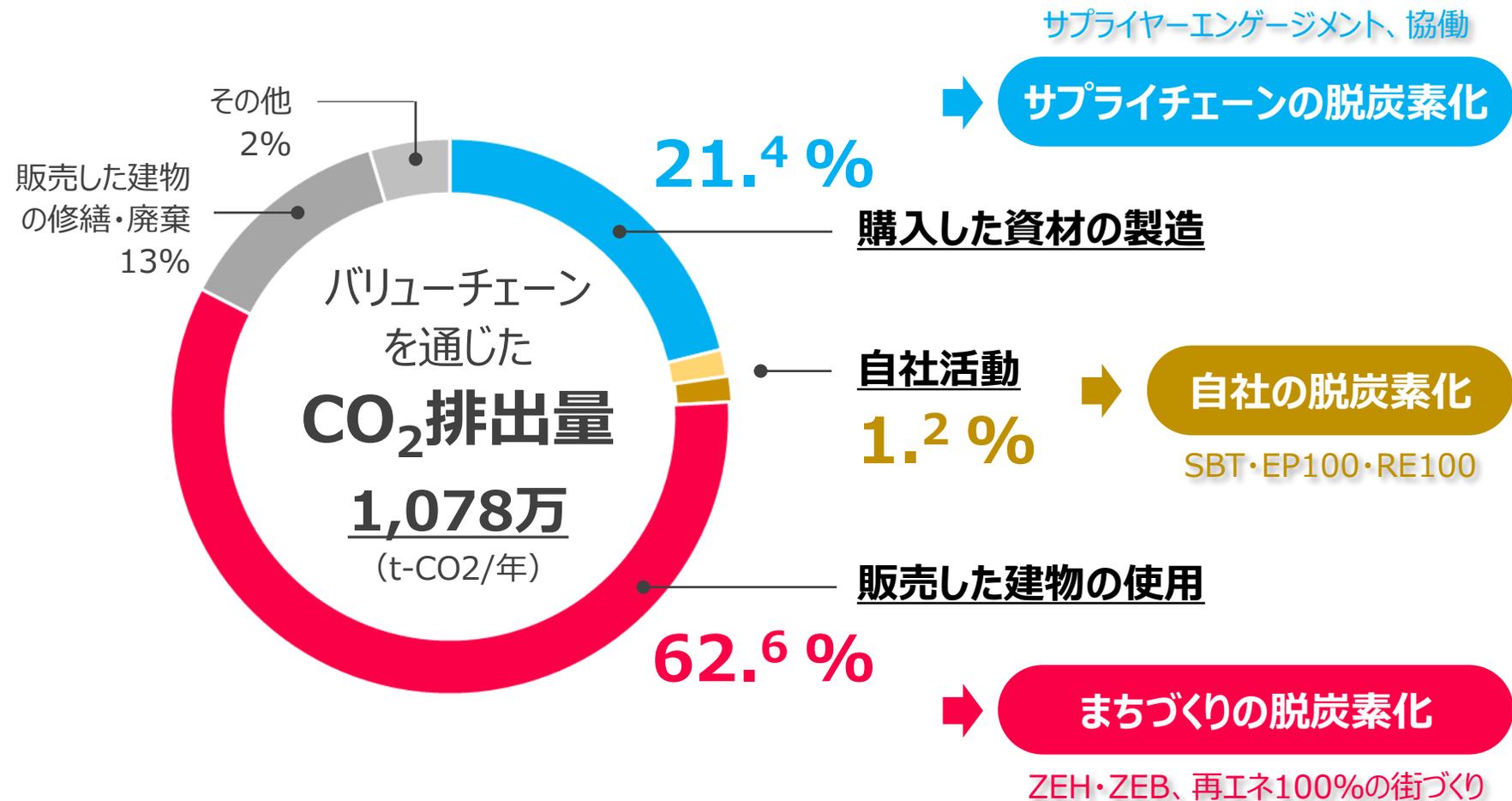
ハウス単体
約**30%**

グループ全体
約**8.5%**



「自社の脱炭素化」 から 「まちづくり」 「サプライチェーン」へ

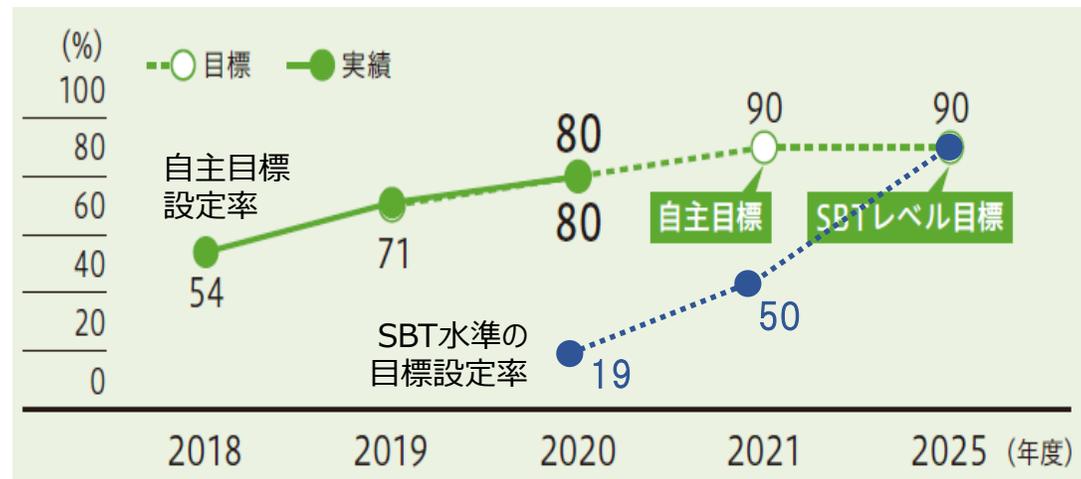
- バリューチェーンのCO2排出量のうち、自社は約1%強
- 排出量の多い「まちづくり」、「サプライチェーン」の脱炭素化へ取組みを拡大



サプライチェーンの脱炭素化に向けて

- まずは、2021年度までに自主目標の設定を要請
- 今後、2025年度までにSBT水準の目標の共有を目指す

■ 主要サプライヤーのCO₂削減目標設定率の推移



■ 脱炭素研修会、ワーキングを開催

- 目標未設定の会社にご参加いただき、「脱炭素ワーキング」を開催
- CO₂排出量の算定方法から取り組みのイロハまで丁寧に解説



脱炭素研修会



脱炭素ワーキング

■ 省エネ・再エネ導入についての協働

- 「自社の脱炭素化」などで培った、省エネ・創エネソリューションを提供



省エネコンサルティング



再エネ電力



太陽光発電



高効率機器



自社で取り組む「省・創・蓄エネ」の成果を、事業の競争力向上につなげ、
「まちづくり」を通じて、「脱炭素社会」の実現を目指す

【住宅】

再エネ自給型ZEH

—ゼロ・エネと快適、
災害時の安心を両立—

- 独自の高断熱外壁に、太陽光・リチウムイオン蓄電池・HEMSを装備した、「再エネ自給型ZEH」を、震災前の2010年から販売
- 普段はゼロエネを実現、停電時は10日分の電力・暖房・給湯を確保できる、「災害に備える家」へ進化

災害に備える家 (2019年3月発売)



【建築】

環境先進企業への ZEB提案

—RE100企業の
ゼロエネ化をサポート—

- ZEB化した自社施設をショールームとして活用
- 先端技術をお客様が体感、ZEBの良さを実感いただき、提案につなげる

リコージャパン様 岐阜支社ビル



大和ハウス佐賀ビル



【環境エネ】

グループ4社で電力小売事業を展開

- 建物のZEH・ZEB化に加え、電力の買取、販売を通じて、お客さまの再エネ活用をサポート



【まちづくり】

再エネ100%の街づくりを推進

- 住宅・建築・街づくり+環境エネのノウハウを結集
- 「発電」から「小売」、「街づくり」を担う、当社ならではの「持続可能なまちづくり」



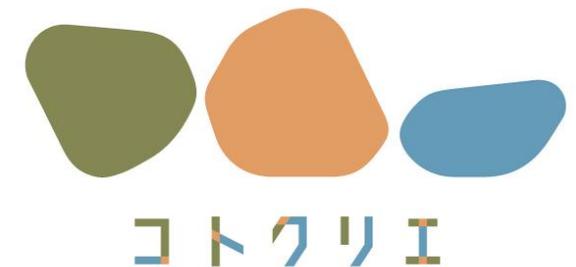
最後に

2021年度の
トピックス

1. 「将来の夢」プロジェクト



2. みらい価値共創センター



アンケート

大和ハウスグループで働くすべての従業員の現状に対する声を聞き、「パーパス（2055年超長期ビジョン）」づくりに向けたダイヤの原石を掘り起こします。

ワークショップ

大和ハウスグループの様々な世代・立場のメンバーが、パーパスについて語り合います。

サミット

参加を希望するグループ従業員の皆さんが、パーパスの素案について語り合います。

ファイナル ディスカッション

従業員による議論をもとに、経営層がパーパスを磨きあげます。この間には、未来を担う従業員の視点が追加され、また、最終案への共感を募りました。

パーパス完成

今ここに
います！

・ワークショップ2 10/12
・次世代WS 10/21
・サミット2、アンケート2 11/11

実施結果

実施日 国内：2021/5/27～6/7
海外：2021/6/8～17（英語・中国語）

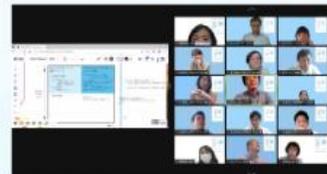
海外も含め全国の31,557名のグループ従業員から声が集まりました。ご協力ありがとうございました。



実施結果

実施日 キックオフ 2021/5/27、
1日目 6/3、2日目 6/10 オンライン

時代背景やメガトレンドについて学び、シナリオプランニングという手法に基づき2055年に実現したい社会と大和ハウスグループの役割を考えました。



実施結果

実施日 2021/7/5、7/6 オンライン

約1,000人が、パーパスの素案について、共感したところや刺激を受けたところなどについて意見交換をしました。



実施結果

実施日 2021/6月～11月毎月

6月はプロセス説明、全従業員アンケートの共有などキックオフを行いました。

7月のファイナルディスカッションでは、メガトレンドや事前リサーチ、また、素案とこれまでに集まったフィードバックの共有と討議を行いました。

8月は、ブラッシュアップされたパーパス案を踏まえて、大和ハウスグループの真の強みは何か、大切にすべきことは何かなど、さらにパーパス案を深める議論を行いました。

10月は、従業員がワークショップで導いた考えや意見を改めて討議に持ち寄り、役員と共に、パーパスに対して議論を行いました。従業員から役員への質問シーンもありました。

11月は、これまでの議論を踏まえ、パーパス最終案を提示しました。そして、パーパス実現のための具体的なアクションとして、2030年に向けた重点実施事項について討議しました。



未来をつなぐ 人財を育む



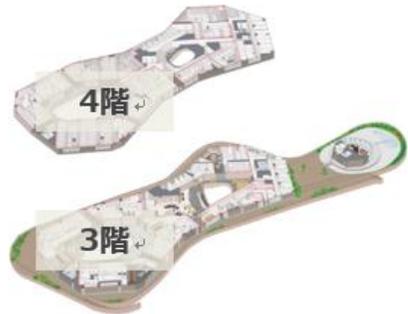
RE100

CLIMATE GROUP



■SDG s に配慮した設計プラン

1～2階は研修エリア
3～4階はキャビン型の宿泊エリア



太陽のホール
天井には吹き抜けを設け、太陽光を十分に
取り入れる設計としています
ルーバーには吉野杉の間伐材を使用しました



ダイニング
塩分やトランス脂肪酸の制限、
野菜や果物の積極的な提供など、
健康的な食事を提供しています
また、プラスチック食器はリサイク
ル原料50%のものを使用しています



オールジェンダートイレ
多様な利用者に配慮し、誰でも気兼ねなく
使うことができるトイレです。サインや動線
も既存概念にとらわれない設計をしています



Biophilic STUDIO
ストレスを緩和し、生産性の向上を促す
ため、屋内緑化、雨音や鳥のさえずりな
どの自然音を流し、アロマをたくなど、
視覚、聴覚、嗅覚からリラックスできる
空間を創出しています

祈祷室
祈祷室として、宗教や宗派を問わず利
用できます。その他に瞑想など心を落
ち着けるための空間としても使用でき
ます



授乳室
子育てをしながら仕事や学びを続け
られるよう、授乳室を設置していま
す。母乳を適切に保存可能な冷蔵庫
も設置しています



風のパティオ
外部に吹き抜け空間を設け、自然換気を促し、
心地よい空気の流れを創出しています



地域の子供たちを
中心とした
共育活動

様々なステーク
ホルダーとの
共創活動

大和ハウスグループの
新たな事業価値を生む
社員教育

■子どもから大人まで学ぶ コトクリエDAY



コトクリエとはみらい価値共創センターの愛称です。
地域の人々を招き、共育の場を設けるカリキュラムを組ん
でいます。
その中には、環境に優しい家作りのワークショップや、生
物多様性に配慮した本施設の庭を巡るカリキュラムなどが
あります。



■環境技術学ぶ建物探検ツアー



地域の子供たちに向け、建物に盛り込まれた技術や環
境への取り組みを楽しみながら学んでもらうために、
クイズ付きの探検ツアーを企画しております。
例えば、風のパティオでの風の流れを图示してもら
うことで**自然換気の仕組みを知るきっかけ**となります。

両利きの“脱炭素”経営

リスク・ドリブン

危機感の
醸成

ビジネスへ
の統合

パーパス・ドリブン

将来の夢

共創・共育

“カンが先で、理論は後や”...創業者；石橋信夫



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

ご清聴ありがとうございました。